

# 平成30年度当初予算編成過程の公表

第3回目  
(最終査定状況)

## 1. 予算編成の基本方針（抜粋）

### 平成30年度予算編成の基本的な考え方

これまでの市政発展の流れを止めることなく、10年後、20年後の本市の姿を見据え、山積する課題を「鳥の目、虫の目、魚の目」という多面的視点から捉え、継続と刷新を念頭に判断し、予算編成に取り組むことを基本とする。

#### (1) 基本方針

##### ① 市民ニーズ・行政課題への対応

各種の市民ニーズや行政課題の解決に向け、広域的な取組みも視野に入れながら、優先性を判断し、集中的、重点的に投資を行っていく。

また、道半ばである東日本大震災からの復旧・復興関連事業については、その完了に向けて全力を傾注していく。

##### ② 行財政改革の推進と健全財政の堅持

限られた経営資源で最大限の行政効果を目指すとともに、市民サービスへの影響に十分配慮しながらも、これまで以上にコスト意識を持って、施策や事業の選択と集中に取り組む。

#### (2) 重点施策

公約及び「継続と刷新」の考えのもと実施した点検結果等を着実に実現していくため、以下の施策・事業を重点施策と位置づけ予算に反映させることとする。

##### ① 公約に関連する施策・事業

##### ② 点検の結果、見直し・新規とされた施策・事業

##### ③ 大規模改修をはじめ、各部各課が重要と考える施策・事業

##### ④ 現行の実施計画で未完了の施策・事業

以上の基本的な考え方に基づき、全職員の総力を結集し施策を推進するとともに、各施策ごとの優先度・重要度を十分に吟味して予算編成を行うこととする。

## 2. 予算編成の流れ

平成30年度の当初予算が、どのような過程で編成されるかを簡単に説明します。

10月10日	★予算編成方針を庁内に通知
10月11日	★予算要求書の作成、提出
）	⇒ 各部署（〇〇部〇〇課）が、予算（歳入、歳出）の要求書を作成
11月1日	し、提出します
11月7日	★予算ヒアリング
）	⇒ 各部署が提出した『予算要求書』をもとに、財政課がヒアリング

11月30日	(要求内容の聴取)を行います
12月中	<b>★予算査定</b> ⇒ 財政課において、要求された予算の査定を行います さらに、財務部長査定などを通して、予算は徐々にスリムになっていきます
1月上旬	<b>★市長調整</b> ⇒ 財政課から市長へ、要求内容や査定状況の報告を行い、調整を進めます
1月下旬	<b>★最終内示</b> ⇒ 各部署に対し、財務部長が予算の内示を行います
2月	<b>★予算案審議</b> ⇒ 市議会に、予算案を提案し、審議が行われます

### 3. 予算要求から市長査定までの状況

\*別紙「平成30年度当初予算の査定状況」を参照してください。

- ◆ 「平成30年度各会計予算の査定状況」
- ◆ 「平成30年度当初予算の査定状況（一般会計）」（歳入）
- ◆ 「平成30年度当初予算の査定状況（一般会計）」（歳出）

## 平成30年度 各会計予算の査定状況

(単位：千円)

会計	平成30年度予算要求額 (H29. 11. 2の状況)			財務部査定額 (H30. 1. 5の状況)			市長査定額			
	歳入(A)	歳出(B)	収支 (A-B)	歳入(A)	歳出(B)	収支 (A-B)	歳入(A)	歳出(B)	収支 (A-B)	
一般会計	66,566,769	84,854,633	△ 18,287,864	70,707,425	75,127,296	△ 4,419,871	75,600,000	75,600,000	0	
国民健康保険 特別会計	13,013,303	13,013,303	0	13,013,303	13,009,000	4,303	13,000,000	13,000,000	0	
公共下水道事業 特別会計	4,189,787	4,189,787	0	4,189,787	4,174,000	15,787	4,100,000	4,100,000	0	
墓地公園事業 特別会計	1,145,789	1,145,789	0	1,129,174	1,158,000	△ 28,826	1,173,000	1,173,000	0	
介護 保険	保険事業勘定	6,978,950	6,978,950	0	6,978,850	6,987,000	△ 8,150	7,003,000	7,003,000	0
	介護サービス 事業勘定	1,209,211	1,209,211	0	1,209,211	1,347,000	△ 137,789	1,324,300	1,324,300	0
後期高齢者医療 特別会計	1,264,828	1,264,828	0	1,264,828	1,268,000	△ 3,172	1,398,000	1,398,000	0	
合 計	94,368,637	112,656,501	△ 18,287,864	98,492,578	103,070,296	△ 4,577,718	103,598,300	103,598,300	0	

【備 考】 ●上記要求額は、H29. 11. 2時点となります。これ以降も、国・県の動向などを踏まえ、追加要求など変動があります。

◆**一般会計**：市が行う行政運営の基本的な経費を計上したもので、市税などを主な財源として構成し、市の会計の中心となるものです。

◆**特別会計**：市が特定の事業を行う場合に一般会計と区別して設置し、その特定の歳入をもって、特定の歳出に充てるものです。

平成30年度 当初予算の査定状況（一般会計）

（歳入）

（単位：千円）

	平成29年度 6月補正後予算 額	平成30年度予算要求額 (H29.11.2の状況)		財務部査定額 (H30.1.5の状況)			市長査定額		比 較	
		要求額 ①	構成比	査定額 ②	構成比	査定留保とした額 (査定額②に含む)	査定額 ③	構成比	③-①=④	伸び率 ④/①
市 税	40,763,240	40,663,988	61.1	41,313,500	58.4		41,313,870	54.6	649,882	1.6
地方譲与税、 各種交付金	4,072,900	4,020,400	6.0	4,489,350	6.3		4,707,110	6.2	686,710	17.1
分担金及び負担金、 使用料及び手数料	2,409,300	2,784,230	4.2	2,538,663	3.6		2,538,710	3.4	△ 245,520	△ 8.8
国庫支出金、 県支出金	9,793,220	10,632,581	16.0	10,776,714	15.2		10,646,630	14.1	14,049	0.1
財産収入、 寄 附 金	203,100	246,288	0.4	262,266	0.4		262,660	0.3	16,372	6.6
繰入金	2,695,590	538,647	0.8	2,050,319	2.9		6,262,080	8.3	5,723,433	1,062.6
繰越金、 諸 収 入	6,546,250	2,804,229	4.2	3,351,213	4.7		3,408,340	4.5	604,111	21.5
市 債	4,698,400	4,876,406	7.3	5,925,400	8.4		6,460,600	8.5	1,584,194	32.5
合 計	71,182,000	66,566,769	100.0	70,707,425	100.0		75,600,000	100.0	9,033,231	13.6

【備 考】 ●上記要求額は、H29.11.2時点となります。これ以降も、国・県の動向などを踏まえ、追加要求など変動があります。

●平成29年度当初予算は骨格予算として編成したため、6月補正後の予算額を表示しています。

- ◆【市 税】：市民の皆さんや市内に事務所を持つ法人等に納めていただくものです。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などがあります。
- ◆【地方譲与税、各種交付金】：国・県が徴収したものを、一定の基準で按分し市に交付されるものです。
- ◆【分担金及び負担金、使用料及び手数料】：分担金及び負担金は、市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するものです。保育所の保育料などが該当します。また、使用料及び手数料は、市の施設や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する負担として徴収するものです。テニスコートの使用料や住民票の写しの交付手数料等が該当します。
- ◆【国庫支出金、県支出金】：国庫支出金は、国と市の行う事業の経費負担区分に基づいて、国が市に支出するものです。また、県支出金は、県が市に対して支出するものです。県自らの施策として単独で交付するものと、県が国庫支出金を経費の全部または一部として交付するものがあります。
- ◆【財産収入、寄附】：財産収入は、市が有する財産の貸付け、売払い等により得た現金収入のことです。公共用地の売払収入や、基金積立金の利子等が該当します。また、寄附金は、金銭の贈与となります。用途が特定されない一般寄附金と、用途を限定した指定寄附金があります。
- ◆【繰入金】：一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用をするものです。
- ◆【繰越金、諸収入】：繰越金は、前年度の決算上の剰余金です。また、諸収入は、収入の性質により、他の収入科目に含まれない収入となります。
- ◆【市 債】：市が事業を行うにあたり、財源が不足する場合、特に一時に多額の資金を必要とするときに、外部（政府・地方公共団体金融公庫・銀行など）から資金を調達するもので、長期的な借入金です。

## 平成30年度 当初予算の査定状況（一般会計）

（歳 出）

（単位：千円）

	平成29年度 6月補正後予算 額	平成30年度予算要求額 (H29.11.2の状況)		財務部査定額 (H30.1.5の状況)			市長査定額		比 較	
		要求額 ①	構成比	査定額 ②	構成比	査定留保とした額 (査定額②に含む)	査定額 ③	構成比	③-①=④	伸び率 ④/①
議会費	371,540	369,776	0.4	366,129	0.4		365,490	0.4	△ 4,286	△ 1.2
総務費	9,690,450	8,487,778	10.0	8,064,863	9.5		8,542,660	10.1	54,882	0.6
民生費	25,944,000	28,247,452	33.3	27,748,916	32.7		27,867,840	32.8	△ 379,612	△ 1.3
衛生費	5,445,410	5,669,495	6.7	5,528,891	6.5		5,532,760	6.5	△ 136,735	△ 2.4
農林水産業費	10,210	21,547	0.0	20,286	0.0		20,020	0.0	△ 1,527	△ 7.1
商工費	791,720	796,306	0.9	775,124	0.9		740,410	0.9	△ 55,896	△ 7.0
土木費	6,764,010	8,968,126	10.6	8,525,612	10.0		8,158,830	9.6	△ 809,296	△ 9.0
消防費	2,145,050	2,360,213	2.8	2,339,711	2.8		2,339,690	2.8	△ 20,523	△ 0.9
教育費	12,678,130	16,649,789	19.6	14,448,727	17.0		14,495,930	17.1	△ 2,153,859	△ 12.9
災害復旧費	3,898,680	9,841,360	11.6	3,555,777	4.2		3,773,640	4.4	△ 6,067,720	△ 61.7
公債費	3,342,800	3,342,791	3.9	3,653,260	4.3		3,662,730	4.3	319,939	9.6
予備費	100,000	100,000	0.1	100,000	0.1		100,000	0.1	0	0.0
合 計	71,182,000	84,854,633	100.0	75,127,296	100.0		75,600,000	100.0	△ 9,254,633	△ 10.9

【備 考】 ●上記要求額は、H29.11.2時点となります。これ以降も、国・県の動向などを踏まえ、追加要求など変動があります。

●平成29年度当初予算は骨格予算として編成したため、6月補正後の予算額を表示しています。

- ◆【議会費】：市議会事務局の予算
- ◆【総務費】：防災、防犯、広報、国際交流、選挙等の予算
- ◆【民生費】：社会、障がい者・老人・児童福祉、国民年金等の予算
- ◆【衛生費】：環境、清掃等の予算
- ◆【農林水産業費】：漁港施設関係の予算
- ◆【商工費】：商・工業振興、観光振興等の予算
- ◆【土木費】：交通安全、道路整備、都市計画、公園整備、市街地開発等の予算
- ◆【消防費】：消防施設等の予算
- ◆【教育費】：小・中学校、教育振興、幼稚園、公民館、図書館、博物館、スポーツ振興、給食センター等の予算
- ◆【災害復旧費】：災害によって生じた被害の復旧に要する予算
- ◆【公債費】：市が借り入れた過去の債務の支払いに要する予算
- ◆【予備費】：予算外の支出または予算超過の支出にあてるための予算